一月十六、七日開催の第十四回製鐵所懇談會
議事の概要

當所に於ける設備條件其の他勞務上の施設にして職工共通の利害に係る事項に付、當局者と職工とが年に一回以上會同して隔意なき懇談を遂げ、意思の疏通を圖るべき製鐵所懇談會の第十四回は、豫報の通り去る一月十六日、十七日の兩日午後一時より本事務所會議室に於て開催せられた。

一萬六千五百の職工の意思を代表した懇談會員は製鐵合同問題其の他全從業員の最大關心を有つ多數の重要問題に付て、當局者との間に私心を去り胸襟を開き、和氣藹々の裡に所謂紳士的態度で熱心且つ誠實なる懇談を交へた。

本文は其の際の議事の大要を錄したものであるが、もともと懇談會の性質上逐語的な議事錄ではなく、單に其の大要を後日の參考用として記すに止めたものであるから、更に是以上の詳細に付ては懇談會員より敷衍して御聽取りを願ひ度い。尚本文は大體に於て懇談進行の順序に依ることを重んじたが、同一問題に付前後重複して發言せられた樣な場合は一回に止めるとか、或は數回の發言の趣旨を一回に簡約するといふ樣な風に適當な整理を加へたので、必ずしも順序通りにはなつて居ないし、又用語も大體口語常體で簡略を旨としたことを併せてお斷りして置く。

第一日たる一月十六日は中井長官外野田技監、渡邊總務部長以下參與職員七十八名及懇談會員七十一名出席して總員百四十九名、正午後一時懇談會所定の座席に着席するや、中村懇談會幹事起つて開會を宣し、更に

本日の議事は去る十一日の懇談會員代表者との打合に基いて進める。即ち（一）時間は今明日とも一時より五時までとし延長を絕對に認めぬ。（二）三時より十分間休憩する。（三）懇談會員の意見や希望は重複を避けること。（四）說明の補足があれば可及的簡單にすること。（五）發言順序は懇談會員側より豫て提出せられた案に從ふ。（六）參與員の答辯は懇談會員の說明補足が終つてからする。

と議事進行上の要項を述べたる後、磯谷勞務部長は懇談會規則に依つて座長席に着き、一同着席の儘記念撮影を行ひ、

【磯谷座長】 規定に依り私が座長を勤めますが、諸君御承知の通り私は斯う云ふ仕事は極めて不得手で心配して居る次第であります。どうか諸君が御援助下さる心持で圓滿に懇談を御進め願ひ度いのであります。長官は東京で御忙しい御用件があるのでありますが、特に此の懇談會のために御出席下さいました。只今一般の懇談に入るに先ち長官よりお話がありますから御靜聽を願ひます。

と述べられ、中井長官起つて左の如く述べられた。

中井長官

【中井長官】 諸君から御提出になつてゐる各事項に就ては是より懇談されることゝ思ふが、その前に私は別に第十四回懇談會の議題に付てと云ふことでなしに、此處には懇談會員の外に參與職員も多數列席して居られるから職員職工の代表者の集つて居る此の機會に於て御挨拶もし又今政府で考究してゐる製鐵合同問題に就ても御話をして置きたいと思ひます。

昨昭和七年の初頭は先年來の不景氣の後を受けて各工場共經營困難でありましたが、秋頃からは段々仕事が忙しくなり、年末に際しては殊に軍部の註文や各方面の註文が重なり合つてどの工場も多忙でありました。斯樣な次第で一年を通じて諸君に心配をかけました。而して製鐵所に於ける經營狀態も幸に段々良好になつて結構と思つて居る次第であります。最近は海外からの註文もあり東洋方面への輸出も出來る樣になりまして本年の經濟狀態は益々多忙となる模樣であります。然し今都合がよいからと言つて本邦經濟の將來を考ふるときは決して調子に乘つてはならないのであります。餘り安心してもいけないし、又各方面の註文には力めて之に應じて行かねばならぬから、昨年に倍して諸君の一層の御努力を願ふ次第であります。

今や我國の製鐵業は益々健全に發達して行きつゝあり、尚今後に於ては國內の自給自足のみならず海外輸出も可能になつて來たことは誠に御同慶に堪へない處であります。就ては此の事業のため將又國家の爲に益々努力して行き度いと思ふのであります。

次に製鐵合同問題は政府の方で其の準備が段々具體化し諸君も之に付て多大の關心と又或る程度の疑念を持つて居らるゝやうでありますが、之は事情が分らないで無理からぬ事と思ふので諸君は敢て心配されるに及ばないと云ふ事を此の際お話して置きたいと思ふのであります。

私は野田技監と共に每年此の問題に關係し來つて居るのでありますが、何故每年の樣に製鐵業の合同が唱へられるかと言ふに、製鐵事業は國際的の商品を生產する事業であつて歐米、印度等の同事業に對抗して絕えず激しき國際競爭の下に軍事上產業上必要なる鋼鐵材を生產する重要なる事業なるが故に、國內の無益の競爭や二重投資を避け對抗して良いものを各方面に供給し更に外國へまでも輸出する樣でなくてはなりませぬ。そのためにはどうすればよいか。即ち我邦の製鐵國策を如何に確立するかと云ふ事が議せらるゝ度每に何としても斯業の統制を圖らねばならぬ、而して之を徹底的に統制するには合同を爲す事が最も適當であると言ふ事になつて居るのであつて、政府の企ても常に其の方向に向つて進められ來つたのであります。而して其の方法として考へられる事は先づ製鐵所を民間に拂下げて各工場と合同する案も考へ得らるゝが、これは諸君も反對であり我々も反對である。次に考へらるゝ方法は他の民營工場を買收して合併する方法でありますが、これは現在の官業を更に延長すると云ふのでありまして敢て反對すべきでないが、之を實現せしむるには、之に參加する會社を買收する爲多額の公債を發行せねばなりませぬが其の爲には幾多の甚だ困難なる事が伴ふのであります。そこで現在の製鐵所の經營形態を官業から民營に、即ち現在の製鐵所の資產を評價してそれを其のまゝ政府の持株として政府の監督の下に會社組織によるべき會社となし、これに現在の民間會社が參加合同して充分に其の能力を發揮させるのがよいと言ふ事が考へられそれが最も實現し易いと言ふ事になつて居ります。そこで今度の合同の方法は誰も金は出さないで又現在の工場設備の過去の投資や借金等は一應見ないで今動き得る工場設備を官も民も同じレベルに並べて見て各々の經濟價値を評價して之を出資とする仕組であるが故に、評價される樣なボロ會社の救濟等と言ふ事にはならぬのであります。即ち各工場の經濟的價値を評價して合同會社に對する株數をきめるのであります。現在合同に參加し得べき製鐵の工場は十二あるが、全部を合同する事は容易ではない。故に政府の最も適當と認むる案を立て先づ合同の核をつくつて之に參加するものを順次に加へて行くと言ふ事になるのであります。只今商工省では此の最後の案で合同を立案し大藏省と協議しつゝあり、又一面に於て陸海軍部其の他の關係各省と交涉して居るのであります。然し未だ具體的交涉にはまとまつて居ないので議會提出の時期は不明であります。然し何れにしても餘程實現の可能性が濃いやうであります。次に從業員の待遇に就てでありますが、合同計畫は國家の大計から見たる政府の政策として行はれる政府の仕事であつて、私は官吏として其の調査攻究に參加はするが長官の仕事ではないのであります。私は製鐵所の工場管理者として關與する立場に在るので從業員の待遇等に關する限り其の低下する樣な事のない樣に進んで努力すべき職責にあると思つて居るのであります。合同は政府が國家產業の現在及將來を考へてやるのであり、殊に官工場を中心として合同するので、拂下げるのではなく、工場其の儘が政府の持株となるのであるから、諸君の待遇は合同後と雖も少しも懸念する必要はないと考へてよい譯であります。

職工諸君は合同後と雖も何等變りのない事は申す迄もありませぬが、職員のうちに恩給年限に達して居ない人は將來の恩給が無くなると言ふので又身分上の不安がありはしないかと心配されて居る向もある樣でありますに就て如何に善處すべきか私も充分考へて居る處であります。然し何れにしても[illegible]利益にならないやうにと考究して居る譯であるから安心して各自の職務に努力して戴きたいと思ふ次第であります。日本現在の經濟狀態から見て昨年、一昨年は思ふやうな活動も出來なかつたが現在では鐵も鋼材も不足を告げて居るやうな狀態であります。惟ふに我國の鐵鋼業は日本の國力の進展に伴はねばなりませぬ。そこで只今の需要の二百三、四十萬噸も近き將來三百萬噸、或ひは三百五十萬噸に增加した場合どうしたらよいであらうかと思はれる譯であります。即ち製鐵業は益々發達すべき情勢にあるのであります。尚全部の合同は早急には聊か難しく之が完成するのには相當の年月を要するが、いづれにしても現業關係の方は殆ど影響はないと信じます。事務關係の方の內には當所の工場作業に必要なものもあり、又合同會社の經營の事務處理に必要なものもあり、合同すれば減つてもよいと考へられる向もないでもないが、一面文書課、會計課の如き却て增す向もあり全體から見れば大した事はないと思ひます。然し從來からの色々の都合を見ても或る場合は一時剩員も出來るのは已むを得ないのであります。又一方前述の如く將來事業は發展すべきものであるから待遇上のみならず身分上についても諸君は敢て懸念はいらぬと思ふ次第であります。然し今の儘でも會社になつても職員は時々新陳代謝を行はなければならぬことはこれ又當然であるのでこれは已むを得ないことでありますが、合同のために身分上の不安を感ずる樣な事はないと思つて居ります。

これに對し

○幸懇談會員

長官閣下から懇篤なる御挨拶があり我々は誠心誠意を以て承りました。今回の懇談會に當り特に上つて居る製鐵官民合同の問題は一朝誤れば二萬從業員の將來に係る大問題でありますから、尚重ねて長官閣下の御意見を承り、我々の進むべき道を探り度いと思ひます。此の大問題の前には我々は他の一切の問題を犧牲にしてもよい決心であります。

と本問題に對する從業員の關心の眞摯なることを強調して挨拶に代へ、それより懇談會員側より提出せられた發言順序に依り各問題に付き懇談を進めた。

議事の概要

第一日

製鐵合同問題

【磯谷座長】 本件は懇談會の議題としては多少疑問があるが、然し諸君の非常なる關心と心配とを持つて居られる問題であるから便宜懇談することにする。と述べ、發言を許せば懇談會員交々起つて大要左の如き反對意見を述べ若くは質問を提出した。

○渡邊（仁）懇談會員

製鐵所も幹部が故意に從業員の意思に反對されるものとは思はぬが、結果に於て我々は合同に反對である。製鐵所の今日ある基礎は、歷代長官の御努力、國民の援助にも因るが、又從業員の獻身的努力に因る事も多い。今之が資本家に奪はれんとするのは殘念である。合同の表面の理由は尤もらしいが、裏面はボロ會社の救濟である。群小製鐵會社は譬へば砂上のバラックに過ぎない。彼等は自力で世界鐵鋼業の競爭場裡に突進出來ないものだ。配當を六分に制限するといふことであるが、歐洲大戰時代夫等の資本家は多きは二十割といふ高配當をしたにも拘らず、戰後多數の失業者を出し乍ら、[illegible]々として合同の仲間に入らうとしてゐる。是等の會社は普通の經濟狀態の下に於ては缺損より外に途がない。而も合同して六分の配當をするならば其の負擔は轉じて我々に轉つて來る。共濟組合の一千二百萬圓の資金が資本家の手に依つて勝手に使はれることは非常に危險である。又八幡市への補助金も廢止されるであらう。我々は從業員の身分、待遇に關する長官閣下の御努力を多とし御人格を信賴し期待するが、合同後に於ては裏切られる懸念がある。之は職工のみならず官吏も心配し反對してゐる。現在の條件を低下せぬと云ふ確實な保障と、本日の提案事項を認めて戴けば我々も安心が出來る。惡辣陰險な資本家を排し我々の納得出來る合同ならばよいが、現在の合同案には反對である。

○紙野懇談會員

我々は合同其のものの根本精神たる民營化に反對である。今日喧しい產業統制は畢竟資本家の利潤を增すに過ぎない。之は國民大衆の利益と一致せず、延いて產業の衰退を招來する。故に國民の幸福を得んとすれば產業の第一線から營利資本家を驅逐して之を國營に移すべきである。此の立場から合同案に絕對反對する。

本案はボロ會社救濟である。現

懇談會關係記事の目次

	面	段
○製鐵合同問題	一	七
○同會本給繰入	三	九
○組合の法人化	四	二
○賞與の問題	四	二
○指定を職工に	四	三
○傭職手當增額	四	三
○勤務時間短縮	四	四
○特別休暇增加	四	四
○昇給の改善	四	四
○教習所の規定	四	五
○退營再入職者	四	五
○給付の改善	四	五
○事務工の待遇	四	七
○官舍改善	四	七
○住宅建築貸金	四	八
○職工職長採用	四	八
○公休扱の增加	四	八
○公傷病の取扱	四	九
○肺結核の取扱	四	九
○西八幡工場	五	一
○建七號技部	五	一
○土木建築工事	五	一
○公傷患者給料	五	一
○不衞生工場	五	二
○功程割增制度	五	二
○各門に食堂を	五	三
○賃金調査參與	五	三
○作業服貸擴大	五	四
○女工浴場設備	五	五
○作業用手袋	五	五
○購買部の改組	五	五
○職工規則中改正	五	五
○指定職夫賃價	五	六
○旅費全額支給	五	六
○分配價格引下	五	七
○病院事務委員	五	七
○作業職頭撤廢	五	七
○子弟緣故採用	五	七
○懲罰制度改正	五	七
○作業服の官給	五	七
○辯護士の出張	五	八
○松ケ島出張所	五	八
○成年々功加給	五	八
○步合の改善	五	八
○賞與月數增加	五	九
○節約獎勵規程廢止の說明	五	九